

2020年4月19日(日)朝10:10～  
4月第3共同主日礼拝式説教

復活節第2、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：主の王権発動(27)

聖書:マタイ 12章22～27節

<口語訳>

新約聖書18～ 頁

マタイ 12章22～27節

<新共同訳>

新約聖書22～ 頁

マタイ 12章22～27節

<新改訳第3版>

新約聖書22～ 頁

マタイ 12章22～27節

<塚本訳>

新約聖書101～102頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ12:22～27**は、**御子イエス・キリスト様**が、**停滞するパリサイ派の人の 非難**を**王なる救い主(メシヤ)**としての**王権**を発揮し、**賢く対応されたことが示されています。**

⇒**御子イエス・キリスト様**が「**悪霊につかれた盲人**」を癒されたのを「**悪霊のかしらベルゼブル**」が、「**悪霊**」を追い出しているからだとなりました。

⇒当時、**パイサイ派の人の中に魔術を使う人がいたので、それと同じことだとしたのです。**

⇒**御子イエス・キリスト様**は、**パリサイ派の人の思い・考えを見抜いて、「悪霊」が、分かれ争うと町や家は立ち行かないと語られたのです。**

⇒これは、**他人事ではなく、「ベルゼブル」は、「家の民・住民」という意味ですから、「悪霊ベルゼブル」が、心の住人になりやすのです。**

本論；

◇本日、**マタイ書12章22～27節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ12章18～21節**；使徒**マタイ**は、盲人の「**悪霊**」を追い出す**神の御子イエス・キリスト様**が、「**王なる救い主(メシヤ)**(27)」のわざをされたと語っています。

◇**12:22～27節**；塚本訳◆**イエスの伝道法**  
塚本訳◆**22節**；**イエスの伝道法**

「22 そこに、悪鬼につかれた盲の唾をつれて来られたので、それをなおされると、唾が物を言い、目が見えるようになった。」、

**塚本訳◆23～27節**；

「23 群衆が皆呆気にとられて言った、「もしかしたらこの人は、**ダビデの子**ではなかろう。」

24 しかしパリサイ人は聞いて、「**悪鬼どもの頭**ベルゼブル[**悪魔**]を使わなければ、この人に悪鬼を追い出せるわけがない」と言った。

25 イエスは彼らの考えを知って言われた、「**内輪割れ**をするいかなる国も荒れ果て、**内輪割れ**をするいかなる町も家も立ってゆかない。

26 (同じように)悪魔が悪魔を追い出している」と

すれば、それは(悪魔の国が)内輪で割れたのであるから、どうしてその国が立ってゆこう。(だからわたしが悪鬼どもの頭を使うわけではないではないか。)

27 それから、(あなた達の言うように)わたしがベルゼブルを使って悪鬼を追い出すとすれば、(同じことをしている)あなた達の弟子は、いったい何を使って(悪鬼を)追い出しているのか。(まさかベルゼブルではあるまい。)だから(このことについては、)あなた達の弟子に裁判官になってもらったがよかろう。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**22～24節**；「そこに、悪鬼につかれた盲の唾をつれて来られたので、それをなおされると、唾が物を言い、目が見えるようになった(22)」、「群衆が皆呆気にとられて言った、「もしかしたらこの人は、ダビデの子ではなかろう(23)」「しかしパリサイ人は聞いて、「悪鬼どもの頭ベルゼブル[悪魔]を使わなければ、この人に悪鬼を追い出せるわけがない」と言った(24)」、「**パリサイ派の人**」は、「**御子イエス・キリスト様の悪霊を 盲人から追い**

出す業」を、「**悪霊のかしらベルゼブル**」の「支配の結果だ、まじないに過ぎない」と、非難しました。

⇒「**悪霊ベルゼブル**」は、人の心に住むと、「**悪霊**」が、「**支配します**」。

⇒「**悪霊**」は、「人間の知恵を使い」、「**神の御子 イエス・キリスト様**」に逆らわせるのです。

⇒パリサイ派の人は、盲人が癒され自由に行動できるようになった事実を認めたくなかったのです。

⇒「**悪霊ベルゼブル**」が、心に張り込むのは、心の主人が不在だからです。

⇒「**ベルゼブル**」でなく、「**王なる救い主(メシヤ)**」をお迎えした心に入込む余地がないのです。

◇**25～27節**；「イエスは彼らの考えを知って言われた、「内輪割れをするいかなる国も荒れ果て、内輪割れをするいかなる町も家も立ってゆかない(25)」、「(同じように)悪魔が悪魔を追い出しているとすれば、それは(悪魔の国が)内輪で割れたのであるから、どうしてその国が立ってゆこう。(だからわたしが悪鬼どもの頭を使うわけではないではないか。)

(26)、「それから、(あなた達の言うように)わたしがベルゼブルを使って悪鬼を追い出すとすれば、(同じことをしている)あなた達の弟子は、いったい何を使って(悪鬼を)追い出しているのか。(まさかベルゼブルではあるまい。)だから(このことについては、)あなた達の弟子に裁判官になってもらったがよかろう(27)」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**悪霊が内輪もめしたら、立ち行かない**」と、「皮肉」を込めた譬えを用いられました。

⇒パリサイ派の人は、ユダヤ人の中でも厳格に律法を守る自他ともに、知性と指導力を誇りました。

⇒かつてパリサイ派の人であった使徒パウロは、1コリント1:31で「誇る者は、主を誇れ」と告白しました。それは、「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害すのか」と主の声を聴いたからです。

⇒主に聴くことを優先している教会や教会に兄弟は、分裂分派を造りません。

⇒「**悪魔**」や「**悪霊**」を恐れる必要はありません。彼らが**御子イエス・キリスト様**を恐れてる。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日の**マタイ12:22～27**は、**御子イエス・キリスト様**が、停滞するパリサイ派の人の非難を**王なる救い主(メシヤ)**としての**王権**を発揮し、賢く対応されたことが示されています。
- ⇒**御子イエス・キリスト様**が「**悪霊につかれた盲人**」を癒されたのを「**悪霊のかしらベルゼブル**」が、「**悪霊**」を追い出しているからだ。
- ⇒当時、パリサイ派の人の中に魔術を使う人がいたので、それと同じことだとしたのです。
- ⇒**御子イエス・キリスト様**は、パリサイ派の人の思い・考えを見抜いて、「**悪霊**」が、分かれ争うと町や家は立ち行かないと語られたのです。
- ⇒これは、他人事ではなく、「**ベルゼブル**」は、「家の民・住民」という意味ですから、「**悪霊ベルゼブル**」が、心の住人になりやすのです。

⇒【新改訳旧版】ローマ 5:5

この希望は失望に終わることがありません。  
なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の  
愛が私たちの心に注がれているからです。